

不具合事例

整理番号 T-08-004

タイトル	開口部から有害物質(油等)を落とした！			
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中	
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質、油			
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他			
説明図	<p style="text-align: center;"><b>「汚染を落とせば3回の悲劇」</b></p> <p style="text-align: center;">地下水流向 →</p> <p style="text-align: right;">①ドラム缶の油が漏出 ②杭穴に油が落下 ③拡散</p>			
作業内容	杭抜き工事			
使用機器	杭打ち機（3点式杭打機、パイラー、バイブロハンマ等）			
<b>不具合事項</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>解体の杭抜き工事で、抜いた杭の穴に油が落ちていった。 (施工箇所付近に油の入ったドラム缶を置いていたため、接触転倒して油がこぼれて杭穴に落ちた。)</li> </ul>				
<b>予防措置(計画者、監督者、作業員)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>作業手順書に杭抜き時のクレーン旋回方向、合図者配置位置等を明確に記載し、作業員に周知する。(計画者、監督者)</li> <li>施工エリア付近には、有害物質を入れた容器を保管すること自体避けるが、やむを得ない場合は、防液堤などの養生のうえ保管し、資材置場の整理整頓を指示する。(計画者、監督者)</li> <li>開口部の養生と明示を確実にを行う。(計画者、監督者)</li> <li>施工箇所付近の有害物質等の容器を撤去又は置かない。(作業員)</li> <li>既に油が地表面に漏洩している場合は、開口部周りの嵩上げ等の措置を行う。(作業員)</li> <li>重機オペレーターと手元作業員は無線或いは手合図等で明確な合図をする。(作業員)</li> </ul>				
<b>応急措置</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>回収が可能な範囲で速やかに回収する。</li> <li>深い深度へ落とした場合は、地下水中へ拡散する前にバキューム吸引等で回収する。</li> <li>周辺での地下水利用(飲用井戸)の中止判断の必要性有無等を判断してもらうため、行政に連絡する。</li> </ul>				
<b>その他、留意事項</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>使用機械の油(油圧用油、潤滑油、軽油燃料等)の漏洩が不具合の発生要因となるケースも考えられることから、使用機械の使用前点検を確実に実施することも忘れてはならない。深部へ落としてしまうと回収が非常に困難であり、回収コストは膨大になる。</li> <li>必要に応じて土壌汚染の有無の調査を行う。</li> </ul>				
関連法規等、出典	・油汚染対策ガイドライン 環境省			
キーワード	解体、杭抜き、落下、回収、点検			
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微	

タイトル	開口部から有害物質(油等)を落とした！	
説明図	<p style="text-align: center;">「汚染を落とせば3回の悲劇」</p> <p>①ドラム缶の油が漏出 ②杭穴に油が落下 ③拡散</p> <p>地下水流向</p>	
作業内容	杭抜き工事	
指示事項	<ul style="list-style-type: none"><li>作業手順書を確認すること。</li><li>資材の保管場所および開口部の養生の明示を確実にすること。</li><li>施工箇所付近の有害物質等の容器を撤去又は置かない。</li><li>既に油が地表面に漏洩している場合は、開口部周りの嵩上げ等の措置を行う。</li><li>作業にあたっては無線あるいは手合図等で明確な合図をすること。</li></ul> <p>【その他の留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>使用機械の使用前点検を確実に実施すること。</li></ul>	
どんな不具合が起こりうるか？		
だから私たちはこうします		
本日の重点施策	ヨシ!!	
サイン		